

令和6年度

事業報告書
決算報告書

第40期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

一般財団法人 上田市地域振興事業団

目 次

令和6年度 事業報告書	3
I 法人の概況	4
II 事業の概況	7
1. 事業の実施状況	7
2. 事業及び施設区分別の実施状況	8
(1) 農林漁業体験実習館 室賀温泉ささらの湯	8
(2) 真田温泉健康ランド ふれあいさなだ館	9
(3) 武石温泉 うつくしの湯	10
(4) 鹿教湯温泉国民宿舎 鹿月荘	11
(5) 岳の湯温泉 雲溪荘	12
(6) 練馬区立武石少年自然の家	13
(7) 地域情報化業務・ネットワーク管理業務（マルチメディア情報センター）	14
(8) 行政情報処理業務（行政情報処理センター）	15
(9) 鹿教湯健康センター クアハウスかけゆ	16
(10) 武石森林公園マレットゴルフ場	17
(11) 武石巣栗溪谷緑の広場 武石観光センター	18
(12) 武石番所ヶ原スキー場	19
(13) 上田創造館	20
(14) 法人管理 総務企画課	21
3. 重要な契約等に関する事項	23
4. 役員会等に関する事項	23
5. 正味財産増減の状況及び財産の状態の推移	24
III 法人の課題	24
IV 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	24
令和6年度 決算報告書	25
貸借対照表	27
貸借対照表内訳表	28
正味財産増減計算書	30
正味財産増減計算書内訳表	32
財務諸表に対する注記	36
附属明細書	37
財産目録	38
監査報告書	39

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和60年4月1日	財団法人 上田市地域振興事業団 設立
平成23年7月1日	社団法人上田市丸子地域振興公社、財団法人上田市真田の郷振興公社及び社団法人武石開発公社を吸収合併
平成25年4月1日	一般財団法人へ移行
平成26年4月1日	上田市地域振興事業団の本拠地を移転

2. 定款に定める目的

一般財団法人上田市地域振興事業団は、地域住民の福祉の増進を図るため、地方公共団体等が設置する公共施設の受託管理等を行い、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 地方公共団体等が設置する公共施設の受託管理等
- ② 地域住民の健康・福祉の増進に関する事業
- ③ 情報処理等に関する受託事業
- ④ 地域振興事業及び都市との交流事業
- ⑤ 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和60年法律第88号）に基づく特定労働者派遣事業
- ⑥ この目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 上田市政策企画部 政策企画課

5. 主たる事務所 上田市上丸子1612番地 丸子地域自治センター内

6. 実施事業

①指定管理業務

事業区分	受託施設	委託元（担当課）
温泉施設管理事業	農林漁業体験実習館 室賀温泉ささらの湯	上田市 農業政策課
	真田温泉健康ランド ふれあいさなだ館	上田市 真田地域教育事務所
	武石温泉 うつくしの湯	上田市 武石産業観光課
宿泊施設管理事業	鹿教湯温泉国民宿舎 鹿月荘	上田市 丸子産業観光課
	岳の湯温泉 雲溪荘	上田市 武石産業観光課
練馬区施設管理事業	練馬区立武石少年自然の家（本館・新館）	東京都 練馬区
日帰り施設管理事業	鹿教湯健康センター クアハウスかけゆ	上田市 丸子産業観光課
	武石森林公園マレットゴルフ場	上田市 武石地域教育事務所
	武石巣栗溪谷緑の広場 武石観光センター	上田市 武石産業観光課
	武石番所ヶ原スキー場	上田市 武石産業観光課
	上田創造館	上田地域広域連合

②受託業務

事業区分	主たる事業所	委託元（担当課）
地域情報化業務	マルチメディア情報センター	上田市
ネットワーク管理業務	マルチメディア情報センター	上田市
行政情報処理業務	行政情報処理センター	上田市・上田地域広域連合等

7. 役員等に関する事項

① 役員

(令和7年3月31日現在)

役職	氏名	現職・担当職務	勤務形態
理事長	小相澤 隆 幸	上田市副市長	非常勤
副理事長	山 口 武 敏	事務の統括	常勤
理 事	北 沢 秀 一	上田市真田地域自治センター長	非常勤
理 事	小 市 邦 夫		非常勤
理 事	小 林 慎 治		非常勤
理 事	酒 井 重 雄	上田市武石地域自治センター長	非常勤
理 事	清 水 貞 男		非常勤
理 事	中 村 尚 文	上田市丸子地域自治センター長	非常勤
理 事	山 崎 完 爾	上田造館館長	非常勤
監 事	宮 澤 敏 郎		非常勤
監 事	小 山 秀 永	上田市会計管理者	非常勤

任期 理事：2年 監事：4年

② 評議員

(令和7年3月31日現在)

氏名	現職
斎 藤 重一郎	
大 沢 春 樹	
大 矢 義 博	上田市政策企画部長
倉 島 弘 一	上田市総務部長
小 林 典 子	
小宮山 陽 一	
佐 藤 和 雄	
滝 沢 均	
松 井 幸 夫	

任期 評議員：4年

③ 事務局長 嶋田 浩一 (上田市から派遣)

8. 職員に関する事項

(令和7年3月31日現在)

区 分	人 数	前期末対比増減 (単位：人)	平均年齢 (単位：歳)
正規職員	63	2	50
再雇用職員	9	△2	63
準職員	3	0	48
非常勤職員（嘱託）	2	△3	46
非常勤職員（フルタイム）	19	2	52
非常勤職員（パートA）	42	5	54
非常勤職員（パートB）	5	△6	64
非常勤職員（アルバイト）	150	17	60
合 計	293	15	57

パートA：社会保険・雇用保険に加入している者

パートB：雇用保険のみに加入している者

Ⅱ 事業の概況

1. 事業の実施状況

令和6年度は、11の指定管理業務及び3つの受託業務について事業運営を実施しました。

うち宿泊施設の鹿教湯温泉国民宿舎 鹿月荘と、日帰り施設の鹿教湯健康センター クアハウスかけゆの2施設は上田市の方針により3月末日をもって閉鎖となったため、事業団が管理運営する最後の一年となりました。そのため、長年の利用に感謝の気持ちを込めた、きめ細やかなサービスを提供し、利用者満足度の向上に努めた営業を行いました。

温泉施設におきましては、令和7年4月の料金改定に備えた周知を図るとともに、年間券の利用期間の更新時期を工夫するなどスムーズな手続きに努めました。利用料金値上げを見越した年間券などの購入が増え、正味財産期末残高は前年度に比べ84万円余の増額となりました。

宿泊施設におきましては、鹿月荘とともに岳の湯温泉 雲溪荘も、令和6年度をもって宿泊業務が終了となったことから、心をこめたおもてなしに努め、正味財産期末残高は前年度に比べ789万円余の増額になりました。なお、雲溪荘については、武石温泉 うつくしの湯が令和7年度に大規模改修を予定していることから、その代替施設として1年間、日帰り入浴施設として営業し令和7年度末をもって閉鎖となります。

練馬区施設管理におきましては、本館・新館合わせた利用者数が前年度に比べ5,074人増え、正味財産期末残高も548万円余の増額になりました。

情報業務等におきましては、寄附の実施により、正味財産期末残高は前年度に比べ2,196万円余の減額になりました。

日帰り施設におきましては、クアハウスかけゆが営業の最終年度であることから利用者数は増加したものの年間券などの購入がないなどの要因から、正味財産期末残高は前年度に比べ1,519万円余の減額になりました。

法人会計におきましては、寄附により、正味財産期末残高は前年度に比べ2,335万円余の減額になりました。

施設利用全般において、チラシによる宿泊割引キャンペーンやイベントの開催、タイムリーな情報発信に努め、多くの施設において令和5年度に比べ利用者が増加したことから、経常収益は前年度に比べ1億3千万円余の増額となりました。

一方、物価や原油価格の高騰、また人件費の増などが経営の負担となっていることから、光熱水料費の節約など徹底した経費削減を行い、健全経営に努めました。

また、令和5年度の上田市財政援助団体監査を契機に、改正された公益法人会計基準に準拠すべく会計処理等を見直すとともに、上田市へ1億2千万円の寄附を実施しました。

その結果、当期の正味財産期末残高は前年度に比べ4,628万円余減少し、期末残高は3億4,711万円余となりました。

※ 2. 事業及び施設区分別の実施状況中の正味財産増減計算書における経常費用には、他会計振替額を含めています。

2. 事業及び施設区分別の実施状況

(1) 農林漁業体験実習館 室賀温泉ささらの湯

上田市指定管理

平成9年開館（27周年）

【利用状況】令和6年度は、工事などによる臨時休館なく1年を通じ営業することができました。また、利用状況もコロナ禍前に戻り、1回券の購入者が朝風呂では令和5年度に比べ1,319人の増、昼夜風呂では9,200人の増となり、全体では14,049人増の280,561人、利用料金収入についても、令和7年4月からの料金改定を見越した年間券などの駆け込み購入により、14,271千円増の91,884千円となりました。

【集客】上田市内外に当館自慢の泉質の魅力を伝えるべく、広報活動を進めるとともに、イベント時には芝広場の東屋に足湯を開設するなどの取組を通じ、新規顧客とリピーターの確保に努めました。

また、イベントの開催については、地元室賀地域の皆様に協力いただき、イベント実行委員会主催による「夏まつり」と「冬まつり」をはじめ、こどもの日や開館記念日、いいふろの日などに子ども向けの内容を取り入れたイベントを開催した結果、三世代にわたり楽しんでいただきました。

【販売】令和5年度から直営になった農産物直売所につきましては、社会問題となっている米不足の最中でも、生産者から安定して仕入れることができ販売が順調であったことと、魅力ある商品を揃え人の流れを作ることができたため、販売品売上は前年度比4,032千円増の10,890千円と、大幅な増になりました。

【営繕】令和6年度はサウナの修繕及び浴室入口の床の補修や自動ドア駆動部分の交換等を実施し、利用者が安全に利用出来るように努めました。経年劣化により施設の老朽化が顕著となっており、軽微な修繕に関しては、毎日施設管理職員が営業に支障が出ないよう対応しておりますが、大規模な改修が必要な時期を迎えているため、上田市と協議のうえ計画的な修繕等を申請してまいります。

① 開館日数	令和6年度	341 日	(令和5年度	332 日)
臨時休館	設備工事	0 日	(令和5年度	13 日)

② 利用状況

区 分	開館日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)	1日平均利用者(前年数)
体験実習館利用者	341		229,459	673 人/日 (655)
朝風呂利用者	341		50,253	147 人/日 (145)
温泉利用者小計			279,712	小 計 820 人/日 (800)
第一研修室 (40人)	341	35	610	
第二研修室 (20人)	341	13	114	
第三研修室 (10人)	341	36	125	
研修室小計		84	849	2 人/日 (2)
合 計			280,561	823 人/日 (802)

正味財産増減計算書

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数(日)	341	332	9
利用者数(人)	280,561	266,512	14,049
利用料金等(千円)	91,884	77,613	14,271
販売品売上(千円)	10,890	6,858	4,032
平成9年開館から令和6年度末までの累計利用者数(人)	7,485,932		
經常収益	152,879	128,378	24,501
經常費用	143,778	141,516	2,261
經常増減額	9,101	△ 13,138	22,239
当期一般正味財産増減額	9,101	△ 13,138	22,239
期首残高	3,179	16,317	△ 13,138
期末残高	12,280	3,179	9,101

(2) 真田温泉健康ランド ふれあいさなだ館

上田市指定管理

平成5年開館（31周年）

【利用状況】令和6年度の入館者数は、令和5年度に比べ2,691人増の180,757人となりました。また令和7年4月からの料金改定を見越しての駆け込み購入が多かったため、利用料金収入は令和5年度に比べ7,369千円増の56,483千円となりました。

【集客】令和6年度は営業活動を増やしたところ、夏季は根子岳・四阿山の登山者に、冬季においては、菅平スキー場の積雪が豊富であったことから、週末は家族連れのほか、クラブチームの利用が増加しました。イベントについては、音楽やスポーツ、グルメなど多様なジャンルで多くの方に楽しんでいただけるよう企画、集客に努めました。自主事業のスイミングスクールは、155名の会員と39名のトレーニングジムの会員に利用いただきました。

【食堂・売店】4月から宴会料理や定食類の盛り付けなどを変更しました。団体向けには季節に応じた料理を提供するほか、調理対応がスムーズになるよう工程を見直しました。

また収穫祭で販売をした松茸のおにぎりは、販売開始前から行列ができるほど好評で、即完売となりました。食堂全体の売上は、令和5年度に比べ3,025千円増の15,709千円となりました。

売店での販売の主力商品である野菜や果物は、安定して販売することができました。一方、米については品薄状態が続き、地元農家のから譲っていただき販売しましたが、2月頃には在庫が終了する状況でした。

また売店商品全体の仕入れ値、特に乳製品の値上げが激しく、収入への影響を懸念しましたが、令和5年度に比べ2,125千円増の13,530千円となりました。

【営繕】令和7年1月20日から2月16日までの28日間、プールのみ臨時休業し、プール内のライン塗装を行いました。なお、令和5年11月にプール熱風炉の入替え工事を実施しましたが、その後の調査で再度釜に穴が開いていることが判明したため、臨時休業に併せて入替え工事を行いました。

日頃の管理については不具合箇所の早期発見と復旧に取り組むとともに、衛生管理も徹底し、利用者が安全に利用できるよう努めました。

① 開館日数 令和6年度 315 日 （令和5年度 312 日）

臨時休業 プール工事 28 日 （令和5年度 3 日）

② 利用状況

区 分	開館日数（日）	利用者数（人）	1日平均利用者（前年数）
ふれあいさなだ館利用者	315	180,757	574 人/日 (571)
（内プール利用者）	287	39,230	137 人/日 (122)

（カッコ内は前年数）

区 分	利用件数(件)	利用者数(人)	1日平均利用者
食堂 宴会利用者	61(46)	579(443)	0.19件/日 1.8人/日 (0.15件/日 0.3人/日)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数（日）	315	312	3
利用者数（人）	180,757	178,066	2,691
利用料金等（千円）	56,483	49,114	7,369
食堂売上等（千円）	15,709	12,684	3,025
販売品売上（千円）	13,530	11,405	2,125
平成5年開館から令和6年度末までの累計利用者数(人)	6,864,779		

正味財産増減計算書（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	176,339	161,663	14,676
経常費用	180,823	152,418	28,405
経常増減額	△ 4,484	9,245	△ 13,729
当期一般正味財産増減額	△ 4,484	9,245	△ 13,729
期首残高	14,928	5,683	9,245
期末残高	10,444	14,928	△ 4,484

(3) 武石温泉 うつくしの湯

上田市指定管理

平成11年開館（25周年）

【利用状況】令和6年度は、人の動きが顕著となり、1回券購入が令和5年度に比べ7,596枚の増となったほか、年間の利用者数も9,004人増の136,934人となりました。

利用料金収入全体では、令和7年4月からの料金改定を見越した年間券などの購入が増えたため、令和5年度に比べ1,620千円増の39,866千円となりました。

【集客】令和6年度は、家族層をターゲットとした四季ごとのイベントや、こどもの日に合わせたイベントなどを開催し、家族連れの集客に努めました。

また、施設職員が館内に四季をとおして装飾を施し、利用者に楽しんでいただけるよう心掛けました。

【食堂・売店】令和6年度は原材料費や燃料費の高騰のため、食堂メニューや宴会料金の値上げを実施した結果、食堂全体の売上は令和5年度に比べ3,395千円増の26,159千円となりました。

また、食材や消耗品等についても安価な業者への見直しなどを実施し、健全な食堂運営になるよう努めました。

販売品収入も、利用者の利便性や嗜好性を考え販売品内容を検討したことにより、令和5年度に比べ899千円増の8,264千円となりました。

【営繕】令和6年度は、令和7年度に大規模改修を控えているため、臨時休館を設けることなく一年を通じ営業しました。

そのため、経年劣化による故障や不具合が生じた機器類、特にポンプ類など、すぐに営業に支障が出る交換工事のみを実施しました。

日頃の管理については不具合箇所の早期発見と復旧とともに、衛生管理も徹底し、利用者が安全に利用できるよう努めました。

① 開館日数	令和6年度	315 日	(令和5年度 308 日)
臨時休館	工事休館	0 日	(令和5年度 6 日)

② 利用状況

区 分	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者(前年数)
うつくしの湯利用者	315	136,934	435 人/日 (415)

(カッコ内は前年数)

区 分	利用件数(件)	利用者数(人)	1日平均利用者
宴会等利用者	119 (223)	1,205 (2,037)	0.38件/日 3.8人/日 (0.72件/日 6.6人/日)

※マレットパック人数含む

正味財産増減計算書 (単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比		令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数(日)	315	308	7	経常収益	134,674	121,851	12,823
利用者数(人)	136,934	127,930	9,004	経常費用	138,449	116,582	21,867
利用料金等(千円)	39,866	38,246	1,620	経常増減額	△ 3,775	5,269	△ 9,044
食堂売上等(千円)	26,159	22,764	3,395	当期一般正味財産増減額	△ 3,775	5,269	△ 9,044
販売品売上(千円)	8,264	7,365	899	期首残高	19,317	14,048	5,269
平成11年開館から令和6年度末までの累計利用者数(人)	3,339,504			期末残高	15,542	19,317	△ 3,775

(4) 鹿教湯温泉国民宿舎 鹿月荘

上田市指定管理

昭和63年開館（36周年）

【利用状況】 令和6年度は、鹿月荘の最後の1年であり、コロナ禍前に利用されていた多数のお客様が「最後の思い出に」と利用していただきました。特に8月～11月の行楽シーズン時には宿泊・日帰り入浴者を合わせて約1,000人の利用がありました。また、閉館に伴い「36年間感謝を込めてありがとうキャンペーン」を謳い、本来閑散期である2月～3月の宿泊最終日までイベントを開催し、前年同月の1.5～2倍の利用がありました。年間利用者数は宿泊・日帰り入浴者の合計で令和5年度に比べて1,305人増の11,383人、年間利用料金等収入は16,206千円増の80,560千円となりました。

最後の1年間、職員一同気を緩めることなく、お客様に安全・安心なサービスの提供に向け、各種ガイドラインに沿った施設運営を徹底して行いました。

【集客】 鹿月荘閉館に伴い2月～3月のイベントの告知を約半年前にホームページ上に掲載し、予約開始日以降には上田市の各自治センターなど約20の公共施設へ広告を設置したほか、直近1年間で利用されたお客様などへDMの配布を行いました。告知等を早期に行った結果、イベント時期に来館できない方から前倒しの予約をいただくとともに、行楽シーズン時には例年以上の集客につながり、1年をとおり利用者増につながりました。

【営繕】 経年劣化により施設の老朽化が顕著となっているため、日頃より職員が注意深く点検を行い、営業に支障が出ないよう対応いたしました。特に、温泉タンク内の消毒やポンプの不具合など、最後の一年、利用者に事故なく安全で安心して快適に滞在していただけるよう、各種修繕を行いました。

① 開館日数 令和6年度 361 日 （ 令和5年度 363 日 ）
臨時休館 工事休館 4 日 （ 令和5年度 3 日 ）

② 利用状況（収容人員：110人・客室34室）

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数(日)	361	363	△ 2
利用者数(人)	7,920	6,633	1,287
日帰り入浴者数(人) (物味湯産手形入浴者含む)	3,463	3,445	18
利用料金等(千円)	80,560	64,354	16,206

正味財産増減計算書

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	120,533	96,520	24,013
経常費用	107,280	95,437	11,843
経常増減額	13,253	1,083	12,170
経常外収益	233	0	233
経常外費用	0	0	0
経常外増減額	233	0	233
当期一般正味財産増減額	13,486	1,083	12,402
期首残高	9,200	8,117	1,083
期末残高	22,686	9,200	13,486

(5) 岳の湯温泉 雲溪荘

上田市指定管理

昭和52年開館（47周年）

【利用状況】令和6年度は、上田市の方針により宿泊事業を行う最後の1年となったため、宿泊割引キャンペーンなどを行い集客に努めましたが、練馬区中学校スキー教室のバスの乗務員の宿泊施設の変更や、地元産松茸の高騰や猛暑による収穫時期の遅れにより、松茸プランの必要量が確保できず、やむなく中止としたため、年間をとおしての利用者数は令和5年度に比べ243人増の4,150人でしたが、利用料金は766千円減収の36,254千円となりました。

日帰り入浴者数については令和5年度に比べ652人増の7,963人で、「日帰り宴会」「コスプレプラン」（コスプレイヤーの撮影のための特別宿泊プラン）などは昨年同様好評でした。

【集客】広告宣伝活動として、地域に密着した媒体を選定し、イベント情報や割引の宿泊プランの情報などを掲載して誘客と集客に努めました。

また、初めての試みとして上田市内や近隣の長和町を対象に4,000部のポスティングを行い、宿泊割引キャンペーンを広く周知し、集客に努めました。

なお、イベントで好評な「小物作りワークショップ」については、安心して参加いただけるよう、各種ガイドラインに沿った感染防止対策を講じながら実施しました。

食事については、リピート率の高い「ぶち入れ鍋プラン」や「信州産牛肉すきやきプラン」を継続して提供するとともに、季節ごとの旬の食材や地産地消をベースにした料理を取り入れることで、お客様に満足していただけるよう努めました。

【営繕】日頃より職員が点検を行い、経年による老朽化が目立つ場所や、温泉関連のポンプ類の交換、利用者が事故を起こす恐れがある駐車場内の区画線工事など、利用者が安全で安心して快適に滞在することができるよう、各種工事を実施することができました。

特に昨年度から設けた休館日には、浴槽内の衛生水準の維持及び老朽化した施設や設備の点検にあて、不具合があった際は、迅速な専門業者への修繕依頼等に対応しました。

① 開館日数 令和6年度 338 日 (令和5年度 341 日)

完全換水清掃及び設備点検等 完全休館 27 日 (令和5年度 25 日)

完全換水清掃及び設備点検等 一部休館 24 日 (令和5年度 24 日)
(宿泊者受入・日帰り入浴時間制限)

② 利用状況 (収容人員：84人・客室18室)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数(日)	338	341	△ 3
利用者数(人)	4,150	3,907	243
日帰り入浴者数(人) (物味湯産手形入浴者含む)	7,963	7,311	652
利用料金等(千円)	36,254	37,020	△ 766

正味財産増減計算書

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	87,765	81,674	6,091
経常費用	93,358	91,742	1,616
経常増減額	△ 5,593	△ 10,068	4,475
当期一般正味財産増減額	△ 5,593	△ 10,068	4,475
期首残高	△ 3,161	6,907	△ 10,068
期末残高	△ 8,753	△ 3,161	△ 5,593

(6) 練馬区立武石少年自然の家

東京都練馬区指定管理

本館：昭和55年開館（44周年）新館：平成6年開館（30周年）

【利用状況】令和6年度は、人の動きが以前のように戻ってきました。利用状況については、本館の営業日数が昨年度より増えたため、利用者数は本館・新館合わせて令和5年度に比べ5,074人増の23,072人となりました。

また、利用料金等収入は令和5年度に比べ16,628千円増の88,558千円となりました。

【本館】練馬区に関連した学校事業及び練馬区主催の事業が中心となり、利用される全てのお客様の安全と安心を第一に、管理運営に努めました。

令和6年度における小学校移動教室、夏季中学校イングリッシュキャンプ、冬季中学校スキー移動教室は予定どおり実施されました。令和5年度は、9月19日から12月28日までの101日間、体育館等の改修工事が行われたため、後期移動教室の実施校は9月の3校のみでしたが、令和6年度は11月下旬まで順調に実施され、利用者は前年度に比べ4,360人増の16,092人、利用料金等収入は11,873千円増の49,577千円となりました。本館の利用については、練馬区の学校事業の予定どおりの実施により大幅な増収となりました。

【新館】令和6年度は、部屋数の利用等制限を設けることなく営業することができましたが、夏季のイングリッシュキャンプ実施時期が、一般の利用者増が見込める夏休みの時期と重なったため、講師の利用室数を除く半数のみでの稼働となりました。しかしながら、年間を通じては客室稼働率が高くなったことから、令和5年度に比べた利用者数は714人増の6,980人となり、利用料金等は4,755千円増の38,981千円となりました。

① 開館日数 本館 355 日（令和5年度 357 日）

新館 355 日（令和5年度 357 日）

休館 本館 定期清掃等 10 日（令和5年度 定期清掃等 9 日）

新館 定期清掃等 10 日（令和5年度 定期清掃等 9 日）

② 利用状況（収容人員：本館 162人・新館 59人）（客室：本館 24室・新館 15室）

区 分		令和6年度	令和5年度	前年度比
本館	開館日数（日）	355	357	△ 2
	利用者数（人）	16,092	11,732	4,360
	利用料金等（千円）	49,577	37,704	11,873
新館	開館日数（日）	355	357	△ 2
	利用者数（人）	6,980	6,266	714
	利用料金等（千円）	38,981	34,226	4,755

正味財産増減計算書 本館（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	182,389	170,723	11,666
経常費用	183,446	165,591	17,855
経常増減額	△ 1,056	5,132	△ 6,189
当期一般正味財産増減額	△ 1,056	5,132	△ 6,189
期首残高	60,992	55,859	5,132
期末残高	59,936	60,992	△ 1,056

正味財産増減計算書 新館（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	159,612	137,014	22,598
経常費用	153,067	142,065	11,002
経常増減額	6,546	△ 5,051	11,597
当期一般正味財産増減額	6,546	△ 5,051	11,597
期首残高	37,120	42,171	△ 5,051
期末残高	43,666	37,120	6,546

(7) 地域情報化業務・ネットワーク管理業務（マルチメディア情報センター） 上田市受託
平成7年開館（29周年）

① 地域情報化業務

年間をとおして各種ガイドラインに沿った感染症対策を実施しながら、各種ICT研修や出前講座などの人材育成事業、インターネットを活用した地域情報の発信事業及び各種イベントを開催、地域の情報化に関する事業を行いました。

【人材育成事業】

情報化社会に対応できる人材育成事業として、市民のICT利活用を推進するため、研修やセミナーを64講座、計150回実施し、延べ1,147人が受講しました。また、パソコン相談室は143日間開設し、令和5年度よりは減少したものの延べ222人の相談を受け、市民のICT利活用の底上げにつなげました。

創造力養成と子どもの健全育成を目的として、十勇士パソコンクラブ、上田まんがクラブなどのクラブ活動及び「ものづくり」をテーマとした教室を合計125回実施し、延べ903人の参加がありました。また、小中学校プログラミング教育の授業支援として、2校で13回の授業を行い、延べ371人の参加がありました。

情報化社会における負の側面や安全利用への対応を進めるために、「インターネット安全教室」の出前講座を6回開催し、145人の参加がありました。

【地域情報発信事業】

上田市の各課が保有する写真画像データの横断検索ができる「上田市イメージデータベース」を運用し、94件の写真素材提供を行いました。

また、上田市博物館所蔵の「上田の商家の引札」57点をデジタル画像化しホームページで公開、上田市美術館開催の「ハッケン！上田の仏像展」に出展された仏像9点を3Dスキャンとデータ化、上田市図書館の「花月文庫」デジタル画像2,390点の公開などを行いました。

セミナー参加実績等（利用状況）・使用料収入の推移 正味財産増減計算書 (単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比		令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数（日）	295	296	△ 1	経常収益	53,962	53,917	44
マルチメディア情報センター 入館者数	24,578	26,122	△ 1,544	経常費用	58,043	52,970	5,073
研修・セミナー 参加者数	1,147	886	261	経常増減額	△ 4,081	947	△ 5,029
パソコン相談 相談者数	222	309	△ 87	当期一般正味 財産増減額	△ 4,081	947	△ 5,029
ものづくり教室 参加者数	903	623	280	期首残高	27,676	26,728	948
(参考)使用料収入	1,974	1,747	227	期末残高	23,594	27,676	△ 4,081

※ 当施設は公金収納の事務を委託されているため、使用料収入は直接上田市へ納入（単位：人・千円）

② ネットワーク管理業務

上田市内の小中学校35校及び組合立依田窪南部中学校のインターネット利用について、ネットワーク回線とホームページサーバーの運用、セキュリティ管理、電子メールアドレス管理、パソコンのセキュリティ管理及び学校ホームページの作成支援を行いました。

令和6年度は、GIGAスクール構想による小中学校のICTを活用した授業により、学校ホームページへのアクセスが大幅に増加し、令和5年度に比べ107,972件増の315,665件となりました。

また、地域情報の発信を目的として、上田市立博物館等3施設の収蔵資料などを情報発信するサーバーの運用を行い、この地域の文化や観光情報を広く発信することができました。

管理端末数等・ホームページ訪問件数 (単位：個・台・件) 正味財産増減計算書 (単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比		令和6年度	令和5年度	前年度比
メールアドレス 管理数	1,136	1,129	7	経常収益	10,110	10,110	0
PCセキュリティ 管理端末数	1,087	1,008	79	経常費用	9,590	7,930	1,661
学校ホームページ アクセス件数	315,665	207,693	107,972	経常増減額	520	2,180	△ 1,661
デジタルアーカイブサイト アクセス件数	323,213	303,210	20,003	当期一般正味 財産増減額	520	2,180	△ 1,661
				期首残高	7,149	4,969	2,180
				期末残高	7,669	7,149	520

（８）行政情報処理業務（行政情報処理センター）

上田市・上田地域広域連合他受託

【上田市総合電算運用管理】

上田市の住民情報、税情報などの個別業務システムの運用管理のほか、本庁舎、各地域自治センター及び出先機関を結ぶ情報通信網の管理について受託し、休日も含め、年間を通じてシステムの安定稼働及び障害時の迅速な対応により、システム環境を総合的にサポートしました。

基幹系業務においては令和7年度末を期限に実施されるシステム標準化に向けて現行システムとのFit&Gap（システム導入において業務や仕組みとの適合性やズレを分析する手段）を担当課及び情報システム課とともに実施しています。

【上田地域公共図書館情報ネットワークシステム（エコール）】

図書館サービスの対象となる上田地域広域内公共図書館11館と、学校図書館47校の維持管理業務とサポート業務を行い、上田地域内の公共図書館利用者の利便性向上に努めました。

【学校ネットワーク総合管理・サポート業務】

ネットワークの障害監視と障害復旧及びインストラクターによる、教職員のパソコントラブル対応や相談などを実施し、情報機器の利用向上をサポートしました。

また、令和3年度から始まったGIGAスクール構想に係るICT支援業務におきましては、上田市の小学校24校、中学校11校、長和町立長門小学校、和田小学校の2つの小学校について受託しました。

ハード面においては従来のパソコン教室からGIGAスクール構想におけるひとり1台端末へと機器の更新を完了しています。

これらGIGAスクール構想も含めて、ICT支援員による円滑な授業支援とICTを活用した「わかる」「できる」授業を推進していくため、十分なサポートができるように職員の研修も行い、学校現場での停滞が起こらないようサポート体制を整えました。

正味財産増減計算書

（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	180,638	180,141	497
経常費用	199,041	176,525	22,516
経常増減額	△ 18,403	3,617	△ 22,019
当期一般正味財産増減額	△ 18,403	3,617	△ 22,019
期首残高	61,273	57,656	3,617
期末残高	42,870	61,273	△ 18,403

(9) 鹿教湯健康センター クアハウスかけゆ

上田市指定管理

昭和58年開館（41周年）

【利用状況】令和6年度は指定管理の最終年度であることから、長年の利用に感謝の気持ちを込めて、きめ細やかなサービスの提供を行いながら業務を実施いたしましたが、燃料費及び光熱水料費の使用量を削減するため、令和5年度に引き続き時間を短縮しての営業となりました。

また、上田市内の他プール施設の臨時休館が相次いだため、新規利用者が増加し、1回券の利用者は令和5年度に比べ846人の増加につながりました。

しかし営業終了のため、継続的な年間券や回数券の更新購入がないことから、売上の減少となりました。

以上の要因により、利用者数は令和5年度に比べ430人増の10,689人となりましたが、利用料金等収入は338千円減の3,197千円となりました。

【集客】令和6年度は施設の不具合や災害などによる臨時休館をすることなく、一年を通じて営業することができました。また、感染症対策に取り組み、館内の換気や消毒等の徹底、水質管理など、利用者が安全で安心して快適に施設利用ができるよう管理運営に努めました。

年間をととして温泉プールを活用した「水中運動」を中心に各種健康プログラムを展開し、施設利用の推進に努めました。また、上田市高齢者介護課による「運動不足解消教室」及び上田市社会福祉協議会による「丸子高齢者水泳クラブ」の業務受託をととして、市民の健康増進に寄与できるよう努めました。

また閉館時には、長い間のご愛顧の御礼と感謝を込めて、記念の品を配布しました。

① 開館日数	令和6年度	342 日	(令和5年度	332 日)
臨時休館	豪雨災害	0 日	(令和5年度	11 日)

② 利用状況

区 分	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者 (前年数)
大人	342	10,060	29.4 人/日 (29.2)
小・中学生		467	1.4 人/日 (1.1)
その他		162	0.5 人/日 (0.6)
合 計		10,689	31.3 人/日 (30.9)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数(日)	342	332	10
利用者数(人)	10,689	10,259	430
利用料金等(千円)	3,197	3,535	△ 338
販売品売上(千円)	392	302	90

正味財産増減計算書

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	47,003	47,280	△ 278
経常費用	56,508	40,995	15,513
経常増減額	△ 9,505	6,285	△ 15,790
当期一般正味財産増減額	△ 9,505	6,285	△ 15,790
期首残高	18,748	12,463	6,285
期末残高	9,243	18,748	△ 9,505

(10) 武石森林公園マレットゴルフ場

上田市指定管理

平成7年開所（29周年）

【利用状況】 令和6年度は天候の影響を受けることなく一年を通じて営業することができました。特に夏の猛暑期間中は高齢者の利用が減少するため、マレットゴルフパックの推進に努めました。利用者は令和5年度に比べて163人減の5,001人となり、使用料収入も176千円減の1,224千円となりました。

【集客】 季節の競技会を春・夏・秋・冬の4回、支配人杯を2回実施し、施設の利用と顧客の確保につながるよう努めました。特に隣接するうつくしの湯と連携した「マレットゴルフパック」（マレットゴルフ場使用料、うつくしの湯入館料、昼食代及びマイクロバス送迎を含む）の広告宣伝を松本及び佐久方面に実施し集客に努めました。また、利用者に対し、うつくしの湯の利用補助券や食事割引券の配布を行うことで、うつくしの湯との相乗効果を図り、売上増とサービスの向上につなげられるよう努めました。

【営繕】 コース内に倒木が数か所あり、業者に倒木処理を委託し、利用者が安全で安心して快適にプレーできるよう努めました。

また、乗用型の草刈り機を導入し、効率的な草刈り業務を徹底することで、利用者が安全で快適にプレーできる環境整備に努めました。

① 開場期間 令和6年4月1日～令和6年12月22日（266日間）

臨時休場 0 日（令和5年度 0 日）

② 利用状況（単位：人・千円）

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開場日数（日）	266	257	9
利用者数	5,001	5,164	△ 163
（参考）使用料収入	1,223	1,400	△ 177

※ 当施設は公金収納の事務を受託しているため、使用料収入は直接上田市へ納入

正味財産増減計算書（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	6,304	6,158	146
経常費用	6,797	6,146	651
経常増減額	△ 493	12	△ 505
当期一般正味財産増減額	△ 493	12	△ 505
期首残高	3,220	3,208	12
期末残高	2,727	3,220	△ 493

(11) 武石巢栗溪谷緑の広場 武石観光センター

上田市指定管理

昭和53年開所（46周年）

【利用状況】 令和6年度は利用状況の全ての項目において前年比でプラスとなり、全体の利用者数は令和5年度に比べ2,594人増の14,118人の利用がありました。体験型施設としての、そば打ち・キャンプ場・釣堀の利用者は前年比315人増となり、美ヶ原への通過点ではなく目的地として本施設を訪れる方が増えつつあります。

【食堂】 手打ちそばを中心に営業を行うなか、年々そばの提供数は増加しており、リピーターも増えてきました。そば提供数は令和5年度に比べ575食増の6,740食となりました。また、手打ちそばを食べるだけでなく、自分で打って親しんでいただけるそば打ち体験も大変好評でした。

【販売】 売店利用は、練馬区小学校の移動教室実施数が増えたため、一般利用者と合わせて令和5年度に比べ1,704人増の4,545人、売上額も3,314千円増で、8,108千円と大幅な増収となりました。

① 開場期間 令和6年4月20日～令和6年11月17日 （189日間）
臨時休館 0 日 （ 令和5年度 0 日 ）

② 利用状況

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開場日数（日）	189	190	△ 1
利用者数(人) [キャンプ場・釣堀・ そば打ち体験]	2,833	2,518	315
利用料(千円)	1,260	1,154	106
手打ちそば食数(食)	6,740	6,165	575
食堂・事業収入(千円)	8,126	7,346	780
売店利用者数(件)	4,545	2,841	1,704
販売品売上(千円)	8,108	4,794	3,314

正味財産増減計算書（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	34,650	31,132	3,518
経常費用	39,174	27,996	11,178
経常増減額	△ 4,524	3,136	△ 7,660
当期一般正味 財産増減額	△ 4,524	3,136	△ 7,660
期首残高	9,722	6,586	3,136
期末残高	5,198	9,722	△ 4,524

(12) 武石番所ヶ原スキー場

上田市指定管理

昭和55年開所（44周年）

【利用状況】令和6年度のシーズンは、輸送人員数で令和5年度に比べ45,876人増の158,774人となり、開所以来、過去最高だった令和4年度の134,562人よりも多くの皆様に利用いただきました。

また、近年はまとまった雪が降らない雪不足の傾向ではありましたが、令和6年度におきましては、低温の日が続き融雪が進まなかったことから、期間中休むことなく営業することが出来ました。

【集客】令和6年度シーズンは、予定していた練馬区中学校スキー教室を全校実施することができました。

また、SNS等で、ゲレンデの整備が行き届いている、リフト代が安いなどの話題を動画や写真で取り上げていただきました。近年、燃料費や原材料などが高騰している中、安全を最優先とした施設の保守整備と、業務の見直しなどを行った成果で実現した安さが集客の1番のアピールポイントとなりました。

【営繕】「安全第一・けが人ゼロ」をスローガンに、スタッフの教育訓練等を充実させ、索道に係る知識と技術の向上を図りながら、早い時期からゲレンデ整備作業と降雪作業に努めました。

また日々の点検を徹底し、リフトの経年劣化による状態の変化の確認など、ゲレンデの状態も含めて、担当課とも情報共有に努めました。

電波状態の環境整備のため、Wi-Fi設備を1基増設し、情報発信や利用者へのサービス向上につなげました。

① 開場期間 令和6年12月28日～令和7年3月30日 （93日間）

臨時休場 0 日 （令和5年度 0 日）

② 利用状況

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開場日数（日）	93	83	10
リフト輸送人員数（人）	158,774	112,898	45,876
リフト利用料金等（千円）	21,119	16,349	4,770
その他利用料金等（千円）	22,513	17,035	5,478

正味財産増減計算書

（単位：千円）

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	70,242	63,377	6,864
経常費用	76,457	58,934	17,523
経常増減額	△ 6,216	4,443	△ 10,659
当期一般正味財産増減額	△ 6,216	4,443	△ 10,659
期首残高	24,685	20,242	4,443
期末残高	18,470	24,685	△ 6,216

昭和61年開館（38周年）

【利用状況】令和6年度の利用者は令和5年度より12,798人増の141,690人となりました。創造館で実施する各種事業への参加者についても、昨年度よりも3,629人多い54,402人となりました。

【集客】 令和6年度は、デジタルプラネタリウム機器等の更新を行いました。光学式恒星投影機（GX-AT）とデジタルプラネタリウムを融合させた演出を行うことで、よりリアルな星空を再現しています。

また、令和5年度から開始したベビープラネタリウムの名称を「ベビー&リラックスプラネタリウム」とし、前年度よりも452人多い896人を集客し、定期的なイベントとして認知されるようになりました。

事前申込が必要なイベントについて、二次元コードによる受付を試験的に開始し、利用者が快適に施設を利用をいただけるよう利便性に配慮しました。電話及び窓口での受付の煩雑さの解消に効果があると判断し、令和7年度から二次元コードによる受付を本格的に実施します。

地域の科学館として、また地域を担う人材の育成のための科学館として、こども科学講座事業等を実施するとともに、上田創造館管理運営ビジョンに謳われている産学官連携・地域連携や地域のコミュニティの育成のための企画展事業、及びコミュニティ推進事業等について事業展開してきました。今後も事業の見直しを実施しながら施設利用の促進に努めます。

① 開館日数 令和6年度 356 日 (令和5年度 357 日)

臨時休館 〇 日 (令和5年度 〇 日)

② 利用状況 (単位: 人・千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
開館日数（日）	356	357	△ 1
利用者数	141,690	128,892	12,798
(参考)使用料収入	9,367	9,827	△ 460
(参考)減 免 額	23,046	20,186	2,860

※ 当施設は公金収納の事務を受託しているため、使用料収入は直接上田地域広域連合へ納入

正味財産増減計算書 (単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	前年度比
經常収益	123, 115	116, 625	6, 491
經常費用	117, 570	115, 907	1, 663
經常増減額	5, 545	717	4, 828
当期一般正味 財産増減額	5, 545	717	4, 828
期首残高	5, 244	4, 527	717
期末残高	10, 789	5, 244	5, 545

(14) 法人管理 総務企画課

健全で効率的な法人運営と一体的な管理体制を目指し、施設との密な連絡を心掛け、各施設の状況把握と情報の共有化を図りました。

施設を休館することなく運営できるよう、スタッフのコロナウィルスやインフルエンザ等の感染状況を把握し、各種ガイドラインの周知・確認と相談等を行いました。また、施設を安全・安心に利用していただけるよう、レジオネラ属菌発生防止のための衛生管理の情報の共有や、施設内での事故防止に向けた迅速な状況把握に努め、対策の再確認の徹底を促す等の対応を行いました。

【財政・会計】

令和5年度に行われた上田市の会計監査委員の指導に基づき、公益法人会計平成20年度基準の方針に則った予算書・決算書の作成を行いました。また、事業経営に必要な資金の確保と適正な資金の運用に向け、月末締めごとに各施設の収支と入館者状況及び資産状況の把握を行い、健全経営に努めました。

令和7年4月の組織改編にあたっては、会計業務の一部を各施設側に移行することから、施設へ赴き、会計担当者への指導を行いました。あわせて、各施設の現金管理については、現金残高と現金出納帳の照合を行うとともに、現金の取り扱いや保管管理状況について検査を実施しました。

原油・原材料等の価格高騰に伴い支出状況や見込額を立て、上田市への「指定管理者事業交付金」申請を行い、運営費の確保に努めました。

【広報・集客】

広報活動については、効果が期待できる媒体を選定し情報発信に努めました。特に令和6年度最後の営業となった鹿月荘や、宿泊業務を終了する雲溪荘についてはキャンペーンチラシの配布やポスティングの提案を行うほか、各施設のイベントや武石番所ヶ原スキー場のコンディショニングの配信など、インターネットを介した最新情報を随時提供できるよう努めました。また、施設への集客を図るため、ささらの湯、さなだ館、うつくしの湯及び武石番所ヶ原スキー場の魅力を伝える動画を作成し、YouTubeにおいて配信しました。これに加え、地域や時間帯、年齢層を絞り込んだバンパー広告を打ち、今後の集客に有益となるデータの収集を行いました。

上田市民向けの集客については、広報うえだや各地域自治センターだよりに施設のイベント情報を掲載したほか、施設のチラシを市内小学校及び保育園等に配布するなど、積極的な広報に努めました。

また、ベルデ武石の指定管理者である練馬区で開催されるイベントに参加し、上田市をはじめ事業団指定管理施設の魅力を伝えるプロモーション活動を実施しました。

【人材育成・雇用】

職員の高齢化及び人材不足への対応として、後任への円滑な業務移行に向け、係長（副支配人）や主任への指導を行っていました。

また、新規採用職員を対象とした接遇やカスタマーハラスメント対応研修を実施し、その後の実践に生かすことができています。

令和6年度で閉館の2施設と、令和7年度にて営業終了予定の雲溪荘及び長期の工事休館を予定しているうつくしの湯の4施設に勤務する全職員に面談を行い、各々対応をしました。

令和5年度から実施している「職員提案制度」は、日々の業務の見直しや事務の効率化、職員全体の意識を一体感とするきっかけとなっています。（令和6年度 1件提案 結果:採用）

また、職員の資格取得奨励や自主研修助成に関しては、危険物取扱者乙種4類、中型自動車免許（8t限定解除）を取得した等の職員に対し助成しました。

【健康管理】

必要に応じて労務調査を行い、随時適正な勤務や職務の体制となるよう見直しを行いました。心身ともに健全な状態を保てるよう働きかけるほか、風通しのよい職場環境の実現に取り組みました。

また、交通事故や転倒事故、体調不良等については状況の把握に努め、通知により情報共有と注意喚起を行い、職場環境や状況の見直し等を促し、再発防止に努めました。

正味財産増減計算書

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	56,828	85,561	△ 28,732
経常費用	80,182	53,821	26,361
経常増減額	△ 23,354	31,740	△ 55,093
当期一般正味 財産増減額	△ 23,354	31,740	△ 55,093
期首残高	94,115	62,375	31,740
期末残高	70,761	94,115	△ 23,354

3. 重要な契約に関する事項

(1) 指定管理者業務の更新契約

- ① 鹿教湯温泉国民宿舎 鹿月荘（令和7年3月31日 契約終了）
- ② 鹿教湯健康センター クアハウスかけゆ（令和7年3月31日 契約終了）

4. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催日（議決日）	議 題	結 果
令和6年6月4日	議案第4号 令和5年度 事業実績報告書及び決算報告書について	承認
	議案第5号 定時評議員会の招集について	承認
令和6年6月25日 （臨時）	議案第6号 代表理事（理事長）の選定について	可 決
令和7年3月25日	議案第1号 令和6年度 補正予算（第1号）について	承認
	議案第2号 令和7年度 事業計画及び収支予算について	承認

(2) 評議員会

開催日（議決日）	議 題	結 果
令和6年4月1日 （臨時）	議案第1号 理事の選任について	可 決
	議案第2号 監事の選任について	可 決
令和6年6月25日	議案第1号 令和5年度 事業実績及び決算報告書について	承認
	議案第2号 理事の選任について	承認
令和6年6月25日 （臨時）	議案第3号 理事の選任について	可 決

5. 正味財産増減の状況及び財産の状態の推移

(単位：百万円)

事業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益	1,201	1,311	1,370	1,407	1,542
経常費用	1,108	1,234	1,330	1,342	1,588
経常増減額	92	77	39	65	△ 46
当期一般正味財産増減額	69	54	30	45	△ 46
資産合計	386	434	447	528	526
負債合計	123	117	99	135	179
正味財産期末残高	263	317	347	393	347

主な増減等の内容

- ① 令和2年度から令和4年度まで、経常収益及び経常費用に他会計からの繰入額及び他会計への繰出額を含めていたが除いて記載している。
- ② 令和2年度から令和5年度まで法人税、住民税及び事業税を経常費用に含めていたが、経常費用から除いて同額を税引前当期一般正味財産額から控除している。
- ③ 令和6年度は上田市に支出した寄附金1億2千万円を経常費用に含めている。

Ⅲ 法人の課題

1 お客様に関する事項

- (1) お客様の声の丁寧な聴き取りと、その適切な対応による、満足度の一層の向上
- (2) 安全・安心な施設運営を維持するための衛生管理や、各種マニュアルに基づく訓練・点検などの徹底

2 職員に関する事項

- (1) 人材育成及び確保に向けた制度、研修などの充実による働きやすい環境の整備
- (2) 職員の高齢化などに伴う、組織の見直しに係る検討
- (3) 指定管理業務終了に伴う、当該施設勤務職員の雇用確保

3 指定管理委託元などに関する事項

- (1) 委託元の期待に応えられる契約内容、業務等の検討
- (2) 施設・設備等の老朽化に伴う修繕費等の増額、及び修繕に係る休館日数の増加

4 その他

- (1) 光熱水料費、燃料費、原材料費などの経費増加への対応
- (2) 公益法人制度改正への適切な対応（事業団定款や会計規程の見直し）

Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

なし

令和 6 年 度
決 算 報 告 書

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	327,328,617	444,829,787	117,501,170
定期預金	100,000,000	0	100,000,000
未収金	36,175,710	38,948,925	2,773,215
たな卸資産	4,048,078	4,936,708	888,630
貯蔵品	1,948,738	2,976,130	1,027,392
前払金	100,000	113,810	13,810
仮払金	32,770	61,604	28,834
流動資産合計	469,633,913	491,866,964	22,233,051
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	1	3	2
什器備品	1,341,212	988,137	353,075
一括償却資産	727,100	1,454,200	727,100
リース資産	20,271,790	3,400,430	16,871,360
電話加入権	607,754	607,754	0
出資金	150,000	150,000	0
その他固定資産合計	23,097,857	6,600,524	16,497,333
固定資産合計	53,097,857	36,600,524	16,497,333
資産合計	522,731,770	528,467,488	5,735,718
負債の部			
1 流動負債			
未払金	102,011,184	83,990,857	18,020,327
未払法人税等	71,000	20,293,600	20,222,600
未払消費税額等	12,163,200	13,631,100	1,467,900
リース債務	20,271,790	3,400,430	16,871,360
仮受金	4,157,643	13,745,765	9,588,122
前受収益	14,363,800	0	14,363,800
賞与引当金	22,574,000	0	22,574,000
流動負債合計	175,612,617	135,061,752	40,550,865
固定負債合計	0	0	0
負債合計	175,612,617	135,061,752	40,550,865
正味財産の部			
1 指定正味財産			0
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			0
一般正味財産合計	347,119,153	393,405,736	46,286,583
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
正味財産合計	347,119,153	393,405,736	46,286,583
負債及び正味財産合計	522,731,770	528,467,488	5,735,718

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日 現在

科 目	その他会計		
	温泉施設	宿泊施設	練馬区施設
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	75,469,762	23,116,303	105,034,388
定期預金	20,000,000	0	20,000,000
未収金	1,093,334	2,817,572	1,866,772
たな卸資産	1,283,975	485,207	1,972,618
貯蔵品	405,730	29,260	438,563
前払金	27,000	25,000	24,000
仮払金	0	0	0
他会計短期貸付金	0	0	0
流動資産合計	98,279,801	26,473,342	129,336,341
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	1	0	0
什器備品	551,658	784,730	2
一括償却資産	0	0	0
リース資産	16,591,520	506,990	0
電話加入権	0	301,670	74,984
出資金	0	0	0
その他固定資産合計	17,143,179	1,593,390	74,986
固定資産合計	17,143,179	1,593,390	74,986
資産合計	115,422,980	28,066,732	129,411,327
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	39,472,653	10,222,326	17,086,965
未払法人税等	15,213	0	10,142
未払消費税額等	0	0	2,810,127
リース債務	16,591,520	506,990	0
仮受金	3,017,637	167,150	81,150
前受収益	14,363,800	0	0
賞与引当金	3,697,000	3,238,000	5,822,000
他会計短期借入金	0	0	0
流動負債合計	77,157,823	14,134,466	25,810,384
負債合計	77,157,823	14,134,466	25,810,384
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	38,265,157	13,932,266	103,600,943
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	38,265,157	13,932,266	103,600,943
負債及び正味財産合計	115,422,980	28,066,732	129,411,327

(単位:円)

その他会計		法 人	内 部 取 引 消 去	合 計
情報等業務	日帰り施設			
56,284,491	46,101,896	21,321,777		327,328,617
20,000,000	20,000,000	20,000,000		100,000,000
19,373,766	10,982,364	41,902		36,175,710
0	306,278	0		4,048,078
128,980	904,889	41,316		1,948,738
0	24,000	0		100,000
0	0	32,770		32,770
0	0	3,213,161	△ 3,213,161	0
95,787,237	78,319,427	44,650,926	△ 3,213,161	469,633,913
0	0	30,000,000		30,000,000
0	0	30,000,000	0	30,000,000
0	0	0		1
4,788	23	11		1,341,212
727,100	0	0		727,100
0	3,173,280	0		20,271,790
0	231,100	0		607,754
0	0	150,000		150,000
731,888	3,404,403	150,011	0	23,097,857
731,888	3,404,403	30,150,011	0	53,097,857
96,519,125	81,723,830	74,800,937	△ 3,213,161	522,731,770
12,910,940	20,404,339	1,913,961		102,011,184
15,213	25,355	5,077		71,000
4,949,100	4,259,133	144,840		12,163,200
0	3,173,280	0		20,271,790
11,942	769,759	110,005		4,157,643
0	0	0		14,363,800
4,499,000	3,452,000	1,866,000		22,574,000
0	3,213,161	0	△ 3,213,161	0
22,386,195	35,297,027	4,039,883	△ 3,213,161	175,612,617
22,386,195	35,297,027	4,039,883	△ 3,213,161	175,612,617
0	0	0	0	0
74,132,930	46,426,803	70,761,054		347,119,153
0	0	(30,000,000)		(30,000,000)
74,132,930	46,426,803	70,761,054		347,119,153
96,519,125	81,723,830	74,800,937	△ 3,213,161	522,731,770

正味財産増減計算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,094	3,388	1,706
指定管理収益			
創造館指定管理収益	118,973,000	112,462,000	6,511,000
体験実習館指定管理収益	42,761,000	38,706,000	4,055,000
鹿月荘指定管理収益	38,708,000	31,472,000	7,236,000
鹿教湯健康センター指定管理収益	43,029,000	43,104,000	△ 75,000
ふれあいさなだ館指定管理収益	78,396,000	78,482,000	△ 86,000
マレットゴルフ場指定管理収益	6,184,000	6,066,000	118,000
雲溪荘指定管理収益	50,418,000	44,473,000	5,945,000
練馬本館指定管理収益	132,693,000	133,012,000	△ 319,000
練馬新館指定管理収益	120,647,000	102,769,219	17,877,781
果栗溪谷緑の広場指定管理収益	16,803,000	17,550,000	△ 747,000
番所ヶ原スキー場指定管理収益	25,266,000	29,609,000	△ 4,343,000
うつくしの湯指定管理収益	56,508,000	51,187,000	5,321,000
受託収益			
スキー受託収益	9,667,480	8,105,196	1,562,284
地域情報化業務受託収益	53,571,000	53,571,000	0
地域ネットワーク管理受託収益	10,109,880	10,109,880	0
行政情報処理業務受託収益	180,638,404	179,996,297	642,107
除雪作業受託収益	762,520	1,261,920	△ 499,400
事業収益			
入館料等収益	222,277,037	193,480,980	28,796,057
宿泊料等収益	240,015,017	201,150,881	38,864,136
販売品売上高	56,269,520	43,993,673	12,275,847
そのほか事業収益	8,357,432	8,263,646	93,786
手数料収益	4,143,906	3,781,627	362,279
その他	3,960,760	2,444,890	1,515,870
受取補助金助成金等	21,113,800	12,597,045	8,516,755
その他収益	454,088	345,116	108,972
経常収益計	1,541,731,938	1,407,997,758	133,734,180
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	337,104,517	324,313,340	12,791,177
臨時雇賃金	209,013,269	198,137,231	10,876,038
賞与引当金繰入額	20,708,000	0	20,708,000
退職金共済掛金	11,463,070	11,251,610	211,460
福利厚生費	73,899,107	72,818,396	1,080,711
旅費	374,590	632,590	△ 258,000
通信費	6,330,132	6,022,307	307,825
什器備品減価償却費	935,021	974,721	△ 39,700
消耗什器備品費	2,504,621	3,523,257	△ 1,018,636
消耗品費	35,409,247	34,332,452	1,076,795
修繕費	35,589,322	20,979,408	14,609,914
印刷製本費	2,387,260	2,122,795	264,465
燃熱水料費	97,084,703	91,706,058	5,378,645
光熱水料費	137,112,449	126,646,078	10,466,371
賃借料	44,410,834	42,308,434	2,102,400
保険料	4,601,629	4,663,355	△ 61,726
諸謝金	3,131,855	2,834,785	297,070
租税公課	79,102,360	73,206,500	5,895,860
支払負担金	4,202,149	3,794,992	407,157
支払寄附金	94,449,000	0	94,449,000
委託費	132,434,519	129,584,085	2,850,434
広告費	2,741,991	1,814,007	927,984
手数料	16,399,538	15,314,144	1,085,394
食糧費	16,270	20,237	△ 3,967
原材料費	111,869,526	89,977,516	21,892,010
販売品仕入	44,728,325	34,155,169	10,573,156

科 目		当年度	前年度	増減
管理費				
役員料	報酬手当金	4,027,890	4,034,840	△ 6,950
給臨時雇賃入	給臨時雇賃入	27,358,196	26,481,870	876,326
臨賞退福交旅通消消修印燃光賃保諸租支支食委広手	引当金共済生通搬備品繕製料水借除謝公担附糧託宣数	5,257,825	4,608,323	649,502
		1,866,000	0	1,866,000
		1,180,160	1,013,480	166,680
		5,963,500	5,736,465	227,035
		10,000	20,000	△ 10,000
		106,636	66,800	39,836
		182,707	246,142	△ 63,435
		145,442	0	145,442
		474,984	697,653	△ 222,669
		0	24,750	△ 24,750
		49,500	225,500	△ 176,000
		164,785	202,184	△ 37,399
		588,640	531,186	57,454
		919,116	933,220	△ 14,104
		206,200	199,430	6,770
		2,254,000	2,397,819	△ 143,819
		149,790	0	149,790
		164,940	191,839	△ 26,899
		25,551,000	0	25,551,000
		6,255	9,431	△ 3,176
		162,819	204,559	△ 41,740
		2,440,032	2,211,220	228,812
		946,794	984,348	△ 37,554
經常費用計		1,588,180,515	1,342,154,526	246,025,989
当期經常増減額		△ 46,448,577	65,843,232	△ 112,291,809
2 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
固定資産売却益		232,998	0	232,998
經常外収益計		232,998	0	232,998
(2) 經常外費用				
固定資産除却損		4	3	1
經常外費用計		4	3	1
当期經常外増減額		232,994	△ 3	232,997
税引前当期一般正味財産増減額		△ 46,215,583	65,843,229	△ 112,058,812
法人税、住民税及び事業税		71,000	20,293,600	△ 20,222,600
当期一般正味財産増減額		△ 46,286,583	45,549,629	△ 91,836,212
一般正味財産期首残高		393,405,736	347,856,107	45,549,629
一般正味財産期末残高		347,119,153	393,405,736	△ 46,286,583
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		347,119,153	393,405,736	△ 46,286,583

※ 法人税、住民税及び事業税について

令和5年度正味財産増減計算書においては、經常費用に20,293,600円を含めていましたが、今年度は經常費用から除いて表記したため税引前当期一般正味財産増減額を同額増加して表記しています。

正味財産増減計算書内訳表

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

科 目	そ の 他 会 計		
	温泉施設管理	宿泊施設管理	練馬区施設管理
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	0	0
指定管理収益			
創造館指定管理収益	0	0	0
体験実習館指定管理収益	42,761,000	0	0
鹿月荘指定管理収益	0	38,708,000	0
鹿教湯健康センター指定管理収益	0	0	0
ふれあいさなだ館指定管理収益	78,396,000	0	0
マレットコ'ルフ場指定管理収益	0	0	0
雲溪荘指定管理収益	0	50,418,000	0
練馬区本館指定管理収益	0	0	132,693,000
練馬区新館指定管理収益	0	0	120,647,000
巣栗溪谷緑の広場指定管理収益	0	0	0
番所ヶ原スキー場指定管理収益	0	0	0
うつくしの湯指定管理収益	56,508,000	0	0
受託収益			
スキー受託収益	0	0	0
地域情報化業務受託収益	0	0	0
地域ネットワーク管理受託収益	0	0	0
行政情報処理業務受託収入	0	0	0
除雪作業受託収入	0	0	0
事業収益			
入館料等収益	187,517,088	0	9,183,360
宿泊料等収益	41,868,330	112,917,000	73,666,901
販売品売上高	32,685,222	3,681,030	5,691,791
その他の事業収益	4,970,500	0	0
手数料収益	3,380,400	215,900	0
その他の収益		0	0
受取補助金助成金等			
受取補助助成金等	15,739,000	2,283,000	0
その他収益			
その他の収益	66,440	75,200	119,825
経常収益計	463,891,980	208,298,130	342,001,877
(2) 経常費用			
事業費	[441,328,705]	[200,638,195]	[328,502,411]
給料手当	55,861,806	55,275,473	98,147,142
臨時雇賃金	60,851,523	20,403,708	22,074,687
賞与引当金繰入額	3,697,000	3,238,000	5,822,000
退職金共済掛金	1,992,160	2,185,500	3,316,540
福利厚生費	13,174,058	10,753,656	17,365,977
旅費交通費	0	0	23,700
通信運搬費	801,236	740,881	766,250
什器備品減価償却費	9,350	196,181	0
消耗什器備品費	1,806,530	0	352,791
消耗品費	10,038,672	5,744,994	9,526,747
修繕費	23,600,313	2,279,906	2,497,935
印刷製本費	737,550	166,139	61,235
燃料費	62,349,111	11,605,037	18,214,764
光熱水料費	70,431,926	13,908,246	21,227,425
賃借料	8,749,732	8,048,659	18,612,596
保険料	707,940	627,280	846,670
諸謝金	38,979	20,000	58,200
租税公課	17,200,482	9,734,588	16,701,858
支払負担金	583,955	1,191,610	1,137,500
支払寄附金	22,082,000	0	0

(単位：円)

そ の 他 会 計		法 人 会 計	合 計
情報業務等	日帰り施設		
0	0	5,094	5,094
0	118,973,000	0	118,973,000
0	0	0	42,761,000
0	0	0	38,708,000
0	43,029,000	0	43,029,000
0	0	0	78,396,000
0	6,184,000	0	6,184,000
0	0	0	50,418,000
0	0	0	132,693,000
0	0	0	120,647,000
0	16,803,000	0	16,803,000
0	25,266,000	0	25,266,000
0	0	0	56,508,000
0	9,667,480	0	9,667,480
53,571,000	0	0	53,571,000
10,109,880	0	0	10,109,880
180,638,404	0	0	180,638,404
0	762,520	0	762,520
0	25,576,589	0	222,277,037
0	11,562,786	0	240,015,017
0	14,211,477	0	56,269,520
390,512	2,996,420	0	8,357,432
0	258,510	289,096	4,143,906
0	3,960,760	0	3,960,760
0	1,956,000	1,135,800	21,113,800
0	106,200	86,423	454,088
244,709,796	281,313,742	1,516,413	1,541,731,938
[254,337,678]	[283,196,315]	[0]	[1,508,003,304]
66,823,218	60,996,878	0	337,104,517
50,894,111	54,789,240	0	209,013,269
4,499,000	3,452,000	0	20,708,000
2,400,000	1,568,870	0	11,463,070
19,148,037	13,457,379	0	73,899,107
293,220	57,670	0	374,590
2,840,106	1,181,659	0	6,330,132
729,490	0	0	935,021
83,700	261,600	0	2,504,621
3,987,524	6,111,310	0	35,409,247
56,100	7,155,068	0	35,589,322
635,630	786,706	0	2,387,260
362,934	4,552,857	0	97,084,703
144,318	31,400,534	0	137,112,449
2,308,547	6,691,300	0	44,410,834
239,220	2,180,519	0	4,601,629
1,705,500	1,309,176	0	3,131,855
18,236,787	17,228,645	0	79,102,360
349,600	939,484	0	4,202,149
42,264,000	30,103,000	0	94,449,000

科 目	そ の 他 会 計		
	温泉施設管理	宿泊施設管理	練馬区施設管理
委託費	35,737,791	11,329,444	29,231,363
広告費	905,104	760,234	546,589
手数料	3,351,604	6,747,065	3,707,599
食糧費	0	0	0
原材料費	20,668,708	32,646,047	53,461,557
販売品仕入	25,951,175	3,035,547	4,801,286
管理費	[0]	[0]	[0]
役員報酬	0	0	0
給与手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0
退職金共済掛金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
交際費	0	0	0
旅費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料	0	0	0
賃借料	0	0	0
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
支払寄附金	0	0	0
食糧費	0	0	0
委託費	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0
手数料	0	0	0
経常費用計	441,328,705	200,638,195	328,502,411
当期経常増減額	22,563,275	7,659,935	13,499,466
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	232,998	0
経常外収益計	0	232,998	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	4	0
経常外費用計	0	4	0
当期経常外増減額	0	232,994	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	22,563,275	7,892,929	13,499,466
他会計振替額	△ 21,705,998	△ 3	△ 7,999,999
税引前当期一般正味財産増減額	857,277	7,892,926	5,499,467
法人税、住民税及び事業税	15,213	0	10,142
当期一般正味財産増減額	842,064	7,892,926	5,489,325
一般正味財産期首残高	37,423,093	6,039,340	98,111,618
一般正味財産期末残高	38,265,157	13,932,266	103,600,943
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	38,265,157	13,932,266	103,600,943

そ の 他 会 計		法 人 会 計	合 計
情報業務等	日帰り施設		
35,583,643	20,552,278	0	132,434,519
183,700	346,364	0	2,741,991
554,089	2,039,181	0	16,399,538
2,310	13,960	0	16,270
12,894	5,080,320	0	111,869,526
0	10,940,317	0	44,728,325
[0]	[0]	[80,177,211]	[80,177,211]
0	0	4,027,890	4,027,890
0	0	27,358,196	27,358,196
0	0	5,257,825	5,257,825
0	0	1,866,000	1,866,000
0	0	1,180,160	1,180,160
0	0	5,963,500	5,963,500
0	0	10,000	10,000
0	0	106,636	106,636
0	0	182,707	182,707
0	0	145,442	145,442
0	0	474,984	474,984
0	0	49,500	49,500
0	0	164,785	164,785
0	0	588,640	588,640
0	0	919,116	919,116
0	0	206,200	206,200
0	0	2,254,000	2,254,000
0	0	149,790	149,790
0	0	164,940	164,940
0	0	25,551,000	25,551,000
0	0	6,255	6,255
0	0	162,819	162,819
0	0	2,440,032	2,440,032
0	0	946,794	946,794
254,337,678	283,196,315	80,177,211	1,588,180,515
△ 9,627,882	△ 1,882,573	△ 78,660,798	△ 46,448,577
0	0	0	232,998
0	0	0	232,998
0	0	0	4
0	0	0	4
0	0	0	232,994
△ 9,627,882	△ 1,882,573	△ 78,660,798	△ 46,215,583
△ 12,321,000	△ 13,285,000	55,312,000	0
△ 21,948,882	△ 15,167,573	△ 23,348,798	△ 46,215,583
15,213	25,355	5,077	71,000
△ 21,964,095	△ 15,192,928	△ 23,353,875	△ 46,286,583
96,097,025	61,619,731	94,114,929	393,405,736
74,132,930	46,426,803	70,761,054	347,119,153
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
74,132,930	46,426,803	70,761,054	347,119,153

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・貯蔵品・・・最終仕入法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法(直接法)を採用しております。

リース資産・・・・・・所有権移転外ファイナンス・リース物件に係る資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっております。

(4) 賞与引当金

従業員に支給する賞与の支出に充てるため支給見込額のうち当期に帰属する額(12月から3月までの4ヶ月分)を計上しております。当期より計上した為、前年度に比べて、22,574,000円経常費用が増加しております。

(5) 収益の計上基準

定期入浴券については入浴サービスを提供した時点で履行義務が充足されるものとして、定期入浴券の有効期間に至って履行義務が充足されるものとし、有効期間に応じて収益を記載しております。当期より繰越期間分を前受収益として負債に計上した為、前年度に比べて、14,363,800円経常収益が減少しております。

2 基本財産の増減及びその残高

基本財産の増減及びその残高は、次のとおりです。

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産	30,000,000	0	0	30,000,000
合 計	30,000,000	0	0	30,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源の内訳は、次のとおりです。

(単位: 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基 本 財 産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	—
合 計	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位: 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車 両 及 び 運 搬 具	488,000	487,999	1
器 具 及 び 備 品	18,766,682	17,425,470	1,341,212
一 括 償 却 資 産	2,181,300	1,454,200	727,100
リ ー ス 資 産	21,862,340	1,590,550	20,271,790
電 話 加 入 権	607,754	0	607,754
合 計	43,906,076	20,958,219	22,947,857

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位: 円)

補助金等の名称		交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金	指定管理支援事業交付金	上田市	0	19,978,000	19,978,000	0	
補助金	退職金共済補助金	上田市	0	163,800	163,800	0	
助成金	障害者雇用助成金	JEED	0	435,000	435,000	0	
	キャリアアップ助成金	長野労働局	0	537,000	537,000	0	
合 計			0	21,113,800	21,113,800	0	

6 関連当事者等との取引の内容

関連当事者等との取引の内容は次のとおりです。

①上田市

議決権等の 所有割合	関係内容	取引の内容	取引金額 (単位:円)	科目	期末残高 (単位:円)
出捐100%	役員の兼任	公共施設の受託管理	358,073,000	未収金	0
		情報処理等の受託	225,799,970	未収金	14,260,383

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

公共施設の受託管理は、公共施設別に条例で定めた「指定管理者が行う業務」について、事業計画書等公共施設の受託管理は、公共施設別に条例で定めた「指定管理者が行う業務」について、事業計画書等の審査を経て予算の範囲内で決定しております。

情報処理等の受託は事業計画書等の審査を経て予算の範囲内で決定しております。

尚、上田市から受けた補助金は5に記載のとおりであり、上田市に支出した寄附金は120,000千円です。

②その他の行政団体からの収入

(単位: 円)

補助金等名称	練馬区	上田地域広域連合	その他市町村等	合計
指 定 管 理 収 入	253,340,000	118,973,000	0	372,313,000
受 託 収 入	8,677,680	8,492,000	10,865,314	28,034,994
補 助 金 収 入			972,000	972,000
合 計	262,017,680	127,465,000	11,837,314	401,319,994

7 その他

退職給付関係・・・採用している退職給付制度の概要

内規に基づき、中小企業退職金共済制度を採用しております。

附属明細書

①基本財産の明細

「公益法人会計基準」の運用指針に定める附属明細書の記載上の留意事項に従い、財務諸表に対する注記2及び3に記載しているので、内容の記載を省略します。

②引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	22,574,000	0	0	22,574,000

財産目録

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		内 容	金額
(流動資産)			
	現金	小口現金	1,000,972
		現金	6,372,905
		釣銭	2,420,500
	預金	普通預金	
		八十二銀行 川西支店No.101504	42,486,313
		八十二銀行 丸子支店No.71216	22,655,873
		八十二銀行 丸子支店No.25167	85,148,625
		八十二銀行 三好町支店No.193197	39,647,061
		八十二銀行 三好町支店No.440797	46,089
		八十二銀行 三好町支店No.360098	67,341,673
		八十二銀行 三好町支店No.193084	24,466,540
		八十二銀行 三好町支店No.176250	752,299
		八十二銀行 三好町支店No.452702	9
		長野県信用組合 丸子支店No.6288409	228,077
		信州うえだ農協 丸子支所No.6122795	8,108,210
		信州うえだ農協 よだくぼ南部支所No.6072623	10,783,866
		上田信用金庫 神科支店 No.4033296	8,121,138
		上田信用金庫 川西支店 No.4024374	7,260,342
		上田信用金庫 丸子支店 No.5979	488,125
		定期預金	
		信州うえだ農協 丸子支所	100,000,000
		現金・預金合計	427,328,617
	未収金	上田市の公共施設の受託管理	762,520
		上田市の情報処理等の受託	14,260,383
		その他委託管理料他	21,152,807
		未収金合計	36,175,710
	たな卸資産	宿泊施設等食材他	4,048,078
	貯蔵品	日帰り施設等消耗品他	1,948,738
	前払金	次年度経費前払他	100,000
	仮払金	雇用保険	32,770
流動資産合計			469,633,913
(固定資産)			
基本財産	預金	信州うえだ農協 丸子支所 3口	30,000,000
		基本財産合計	30,000,000
その他固定資産	車両運搬具	除雪機	1
	什器備品	WiFiシステム、パソコン他	1,341,212
	一括償却資産	パソコン	727,100
	リース資産	冷蔵ショーケース、業務用冷蔵庫、券売機他	20,271,790
	電話加入権	雲浜荘1、練馬2、観光センター1契約	607,754
	その他固定資産	出資金（長野県信50,000、上田信金100,000）	150,000
その他固定資産合計			23,097,857
固定資産合計			53,097,857
資産合計			522,731,770
(流動負債)			
	未払金	賃金・光熱水料費・燃料費他	102,011,184
	未払消費税等	令和6年度確定消費税額	12,163,200
	未払法人税等	確定法人県・市民税	71,000
	リース債務	未払リース料	20,271,790
	仮受金	R7年度収入分・社会保険料・入湯税他	4,157,643
	前受収益	定期入浴券未経過期間分	14,363,800
	賞与引当金	職員の賞与の支払に備えたもの	22,574,000
流動負債合計			175,612,617
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			175,612,617
正味財産			347,119,153

令和 6 年 度
監 査 報 告 書

令和6年度 監査報告書

令和7年5月28日

一般財団法人 上田市地域振興事業団
理事長 小相澤 隆幸 様

一般財団法人 上田市地域振興事業団

監事 宮澤 敏郎

監事 山口 美栄子
(印影省略)

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

全ての計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の計算関係書類は法人の財産及び損益の状況を、重要な点において全て適正に表示しているものと認めます。

以上